

ISO14001活動の 一環として募金活動を開始

お話を伺ったのは、ビジネスマネジメ
ント本部情報セキュリティISO推進
統括部の浅野俊治課長で、同社のISO
14001（環境マネジメントシステ
ム）をご担当されています。

「地球環境基金に寄付するようにな
って十数年だと思いますが、きっかけは
弊社が環境ISOの認証を取得したこ
とだと聞いています。電力の使用量抑
制やCO₂の排出量削減という本業で
の環境行動だけでなく、良き企業市民
としての活動も求められます。もちろ
ん働く社員の意識改革も必要で、その
シンボルの一つとして募金活動を始め
たよつです。あくまでも社員個人の善
意によるもので、会社から強制するよ
うなことはしていません。これまで続
いてきたのは、現場で「コツコツ地道に働
く社風」というか、生真面目な社員の想
いが反映しているのでしょうか。かつては
他の団体にも寄付していましたが、現
在は『間違いのないきちんとしたこ
ろ』というこで、地球環境基金さんに
寄付させていただいています」

必要な社員への情報提供

同社には全国に数多くのサービス拠
点がありますが、5〜6人以上が在籍
する拠点には地球環境基金の募金箱が



基金を支える方々

環境への想いを受け継ぐ 募金箱

高度なICT (Information and Communication Technology) を
駆使し、情報システムの企画設計、運用サービス、メンテナンス等の事業を
全国で展開している株式会社富士通エフサス。
地球環境基金の良き理解者でもある同社を訪ね、お話を伺いました。



株式会社富士通エフサス

- 本 社：神奈川県川崎市中原区中丸子13-2 野村不動産武蔵小杉ビルA棟
- 資本金：94億175万円
- 売上高：2,662億円（2013年3月期、連結ベース）
- 従業員：6,285名（2013年6月20日現在、連結ベース）

の寄付したお金がどう使われているか
を見えるようにしたいと思っています。
地球環境基金の役割を伝えるのも事務
局の仕事なので、より多くの情報を提
供していただけると助かります」

募金が情性にならないように

十数年にわたって続けている地球環
境基金への寄付ですが、情性として続
けることだけは避けたいと浅野課長は
語ります。

「募金は目的ではなく、あくまでも社
員の環境意識向上の環です。今までや
つてきたからと漠然と続けるのではな
く、より積極的に関与していくため
も、募金を行う仕組みも含めて見直し
も必要ではないかと考えています」

本社の受付フロアには、同社の社会
貢献活動を示す小さなパネルが控えめ
に展示されていますが、それを見てい
ると、地道な募金活動を続ける社員の
皆さんの姿が脳裏を過ります。



株式会社富士通エフサスのオフィス内に
置かれている地球環境基金の募金箱

設置されており、その数は100を超え
ます。全体を管理するのは浅野課長の

ーションが進み状況も少し変わってき
ました。昔は、少しでも目に付く所に募

部署で、各拠点では環境ISO
に関わるメンバーが対応して
います。
「地球環境基金という名前
は知らなくても、ハートのマー
クが付いた募金箱と言つと思
い当たる社員は多いと思いま
すが、最近はおフィスのイノベ
ーションが上がり、社内セキュリテ
ィやオフィス内の美化等の関係で、関連ホ
スターを貼る場所や募金箱を置くスベ
ースが制限されつつあります。それを
カバーすると言つては何ですが、募金を
どこに寄付しているか、社員向けウェブ
サイトできちんと報告し、地球環境基
金のホームページにもリンクを貼つてい
ます。今後は、社員の募金に対するモチ
ベーションを上げるためにも、自分たち



お話を伺った浅野俊治課長